

アリセプト錠と併用注意薬

薬品名	臨床症状	機序
コリン賦活剤 ベサコリン トランコロン	迷走神経刺激作用などコリン刺激作用が増強される可能性がある	アリセプトと共にコリン作動性の作用メカニズムを有している
コリンエステラーゼ阻害剤 ウブレチド メスチノン メスチノン ワゴスチグミン		
イトラートカプセル エリスロマイシン 硫酸キニジン	アリセプトの代謝を阻害し、作用を増強させる可能性がある	併用薬物のチトクロームP450(CYP3A4) (CYP2D6)阻害作用による
テグレトール デカドロン アレビアチン フェノバル リファンピシン	アリセプトの代謝を促進し、作用を減弱させる可能性がある	併用薬物のチトクロームP450(CYP3A4)阻害作用による
中枢性抗コリン剤 トリヘキシ アキネトン	アリセプトと抗コリン薬は互いに干渉し、それぞれの効果を減弱させる可能性がある	アリセプトと抗コリン薬の作用が、相互に拮抗する
アトロピン系抗コリン剤 C・Bスコポラ ブスポン アトロピン注 ロートエキス		
非ステロイド性消炎鎮痛薬	消化性潰瘍を起こす可能性がある	コリン系の賦活により胃酸分泌が促進される

2006.10 ふたわ診療所グループ精神科チーム作成
千葉民医連 薬剤師・薬学生のページ

<http://www.min-iren-c-v.jp/>